

白紙子

Shouji

発行者: 寶積英彦, 埼玉県狭山市水野 594 番地, 編集長: 関口 歩 企画編集: 広報紙編集室,
ホームページ: www.syojukai.or.jp メール: syojukai@mirror.ocn.ne.jp



ホームページ ブログ

尚寿会ホームページリニューアル! ~発信力を高めます~

6月に尚寿会ホームページをリニューアルしました。今まで以上に尚寿会各施設の知りたい情報を簡単に探せるように、情報がわかりやすいように、再編成しました。外来の休診や代診と言った尚寿会のお知らせも随時更新します。

また、現在は新型コロナウイルス感染症から入院患者様と入所者様をお守りする観点から、止む無く面会制限をさせて頂いていますが、こういったリアルタイムの情報、そして楽しいイベント情報もホームページでお知らせする予定です。



リニューアルしたホームページは、施設ごとにサイトの作りが大きく異なり、各所に工夫を凝らした仕掛けを取り入れて、遊び心のあるデザインとな

っています。また、各施設の担当者やシステム担当者が写真や文章を随時修整する事ができる作りになっているので、これからも改良を重ねてより良いホームページに作り上げていきたいと思

っています。また、各施設の担当者やシステム担当者が写真や文章を随時修整する事ができる作りになっているので、これからも改良を重ねてより良いホームページに作り上げていきたいと思



好評です! ~愛 通所リハビリ「言葉と嚥下のリハビリコース」のご案内~

令和2年4月1日から、愛通所リハビリテーションが新しく短時間通所リハビリとして、リニューアルオープンしました。1日を4コースに分けて、短い時間で効率よくリハビリテーションを提供する形となっています。中でも、毎週火曜日に行われている「言葉と嚥下のリハビリ」コースは、通所リハビリテーションでは全国的にも数少ない、失語症や構音障害、嚥下障害などに特化した専門コースです。

ここ最近多くのお問合せや、利用されている方からご好評を頂戴しています。

失語症や嚥下障害は目に見えにくい障害で、悩まれている方も多くいらっしゃると思います。言語聴覚士がその方に合わせたプログラムメニューを作成し、個別や集団など、様々な形でリハビリテーションを実施しております。利用者様の人数が増えてきているので、今後別の曜日に新しいコースの新設も考えています。見学も随時受け付けておりますので、是非お気軽にお問合せください。(なみ)



「言葉と嚥下のリハビリ」コース

毎週火曜日 15:15~16:45 (祝日も営業)

問合せ: 介護老人保健施設 愛 通所リハビリテーション TEL04-2957-0666

狭山市特定健診ご予約承り中！ ～大生病院 健診窓口からのお知らせ～

今年は新型コロナウイルスの影響で、特定健診の開始が延期されていましたが、ようやく6月に受診券が発行され、ご利用できるようになりました。

自粛のせいで、食べ過ぎてしまった方、運動不足の方、その逆に、マラソンや散歩を始めた方など、生活習慣の変化があった方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。健康診断を利用し、まずは、ご自身の身体をチェックしてください。あらゆる感染症に負けないためにも、健康な身体を保って参りましょう。私たちにそのお手伝いをさせてください。ご予約をお待ちしております！

(当院は万全な感染対策を実施し、健康診断を実施していますが、今後も新型コロナウイルスの感染状況により、健診が延期、中止になる場合がございます。) 問合せ先：大生病院 TEL04-2957-1141 (健診窓口)



たくさんのメッセージ・ご支援物資・温かいお気持ち…ありがとうございます！

SAYAMA LOVE プロジェクト

狭山市商工会議所青年部を始め、狭山市の各種団体・企業・行政・市民の方々から、スイーツのご提供と市内の子供たちより、医療従事者に向けた応援メッセージを頂きました。狭山市特産のスイーツ、市内の方々からのメッセージに、日々緊張感の中で仕事に従事している職員一同、一服の清涼剤のように心温まり活力を頂きました。ありがとうございました！



ジャニーズ事務所「Smile! Up Project」

5月25日、ジャニーズ事務所「Smile! Up Project」様より、医療従事者の皆様あてにというメッセージと共に、マスクとガウンを頂きました。医療資材が不足している時期にタイムリーなご支援を頂き、大変助かりました。お陰様で医療スタッフの安全確保を担保することができました。



その他にも、ご入院・ご入所・ご入居のご家族様、取引業者様からも多くのご支援を頂きました。また、院内でも患者様やご家族様から「大変な中ありがとう」等、たくさんのお言葉をかけて頂き、皆様のご支援、ご声援に、医療スタッフ一同、心より感謝申し上げます。(エム)

各施設、制限付きの面会が始まっています！ ～安全と安心を両立したい～

院内・施設内での感染予防対策としての面会制限の取り組みにご理解・ご協力を賜りありがとうございます。お陰様で現在まで、グループ法人内での感染者0名です。

新型コロナウイルスにおける緊急事態宣言が解除され1ヶ月。面会の再開についても、何度となく法人内で検討しておりますが、現時点では制限付きの面会を継続させて頂くこととなりました。

長い面会制限により、患者様、ご家族様にはたくさんのご心配とご不安をお掛けしていることと思います。高齢者の患者様にとってご家族との面会機会は「精神的な安定」という意味でも重要であることは重々承知しておりますが、それでもなお、現時点では安全を最優先に、制限を設けさせていただきます。完全なる面会中止から、リモート・Skype面会、そして現在では、ガラス越しやアクリル板越しの面会へと、それでも少しずつ平常時の面会に近づきつつあります。

新しい生活習慣の中での面会はどうあるべきかも含め、各施設により、今できる最善策を模索しているところです。詳細については、各施設で異なりますので、どうぞお気軽にお問合せください。(むー)

◎ご来院、ご来所の場合、検温やマスク着用、手洗い、手指消毒の徹底をお願い致します。



狭山市と協力！ ～自宅でできる簡単体操動画を作成しました！～



大生病院リハビリテーション科では、狭山市のホームページにある体操リーフレットと一緒にできる動画を福寿の里ひこばえホールで作成しました！

新型コロナウイルスによる生活の影響が長期化する中、ご自宅でできる運動やリハビリの工夫が求められており、尚寿会としても力を入れて取り組んでいます。皆様も是非一緒にやってみましょう！（☎狭山市のQRコードです）（クロ）



ようこそ！ ～あさひ病院に新たな仲間～

あさひ病院では、4月からモンゴルからの外国人技能実習生を迎え、異文化交流を図りながら日本の介護技術の習得に協力しています。5月には、ネパール人のスシラさんとニタさんが新たに仲間に加わってくれました。おふたりは、母国語はもちろんのこと、日本語も堪能なうえ、英語も話せるマルチリンガルです。（ニタさんはインド語もはなせるとか、、、）

来日してから学生生活の傍ら、アルバイトを通して日本文化やコミュニケーション能力に磨きをかけてきたそうです。近い将来、尚寿会にも外国人の患者様が通院や入院でご利用になる日が来ると思います。そんな時、外国人の患者様とスタッフが共通言語で正確な意思疎通が図れることは、安全安心の医療提供に繋がります。外国人スタッフには、その先駆けとなって、様々な可能性や役割を担って頂きたいと期待しています。

職員のみなさん、患者ご家族の皆様、温かい支援をどうぞよろしくお願いいたします。

（なる）



遅くなりました（^_^）； ～今年度の役員決定！宜しくお願いいたします！～



【地域交流推進委員会】

今年度も委員長を務めさせて頂く、あさひ病院リハビリテーション科吉田佳祐です。年度初めより、新型コロナウイルスの影響から「尚寿の市」の中止など、例年通りの活動を思う様に開催できないもどかしさを感じておりますが、尚寿会と地域の皆様との絆を感じて頂ける活動を、新しい生活様式に当てはめた形で、委員一同力を合わせて模索していきたいと思っております。今年度も委員会活動へのご協力を宜しくお願いいたします。

尚寿会地域交流推進委員会委員長 吉田佳祐

- 委員長 吉田佳祐 あさひ病院 リハビリテーション科
- 副委員長 小林敏子 大生病院 庶務課
- 委員 栗原久美子 大生病院 医事課
- 委員 富田依里 あさひ病院 医事課
- 委員 松隈恵子 老健愛 通所リハビリテーション科
- 委員 米倉直樹 老健愛 看護科
- 委員 栗原康晴 福寿の里 生活支援科

【親睦会】

本年度、親睦会会長を務めさせて頂きます、大生病院リハビリテーション科の木下です。今年1年、役員全員で協力し、親睦会の企画・運営を務めさせて頂きます。

今年は世界的に大変な時期であり、親睦会の企画も例年通りにできないことも多くあると思います。しかし、これを機に状況に合わせた新たな企画を発案できるよう努力して参ります。皆様のご協力、宜しくお願いいたします。

第42期親睦会会長 木下弘章

- 会長 木下弘章 大生病院 リハビリテーション科
- 副会長 三辻莉紗 大生病院 医事課
- 会計 吉野 冴 あさひ病院 地域連携情報管理室
- 広報 福本清高 大生病院 看護管理室
- 広報 三浦 修 老健愛 介護科
- 広報 吉澤 舞 福寿の里 生活支援科
- 広報 伊藤義幸 あさひ病院 看護科



蜆 気 楼 ～サバイバルフーズ～

日本では近年、地震や集中豪雨などの自然災害が増えています。東日本大震災発生後、防災対策をより意識するようになりました。直接の被害がなくても、インフラが長期間停止してしまうこともあります。

防災対策のひとつとして非常食の確保は重要ですが、賞味期限のチェックと入れ替えが負担になります。病院では栄養科が管理していますが、規模が大きいのでかなり大変です。何か便利なものがないかと探していたところ、発見したのが「サバイバルフーズ」という缶詰の非常食です。なんと25年も保存できるというのです。



元々は米国のフリーズドライ食品メーカーが軍用、宇宙用として開発したのですが、現在は国内生産となっています。そのまま食べられるクラッカーと、水を加えるタイプのシチューと雑炊があります。価格は高く感じますが、超長期保存と考えるとお得です。自宅用に1缶購入してみました。試食をしていないので味の保証はできませんが、口コミによると美味しいようです。

25年間開けずに過ごせることを願います。病院の備蓄食としても今後検討していきたいと思っています。

あさひ病院院長2階西病棟 精神科外来火曜日午前・水曜日午後担当 斎藤真希

本当に残念です… ～阿波踊り いきいき連の本年度活動について～

今や夏の風物詩とも言える「尚寿会 いきいき連」ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、練習すら始められない状況が続き、誠に遺憾ながら本年度の活動は中止となりました。



東京オリンピックの延期や、地方の大きなお祭りも中止、身近な地域のお祭りも中止となる中、阿波踊りだけでも元気にお届けしたかったのですが、練習も含めて三蜜は避けられない状況であり、中止止む無しとの決断です。こうなってみると、普通に練習ができて、お祭りが開催されることって、本当は普通の事ではなかったのですね。世の中が平和で、人々が安心して生活でき、気持ちに余裕がないと、お祭りはやれないのだということを思い知らされました。

来年度はさらに力をつけて、魅力ある演舞をご披露できるよう、連員一同一刻も早いコロナの終息を願っています。どうぞ皆様もお体に気をつけてお過ごしください！それヤッター！

(ちか)

できる範囲で楽しみます！ ～各施設での夏祭り～

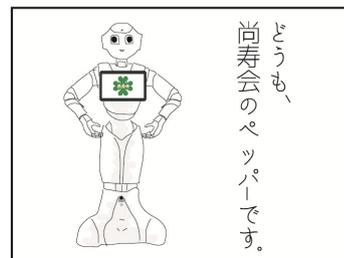


というわけで…、毎年恒例となっている親睦会主催の尚寿会納涼祭、毎年盛り上がる大生病院のナイトレクは、今年度中止が決定しております。

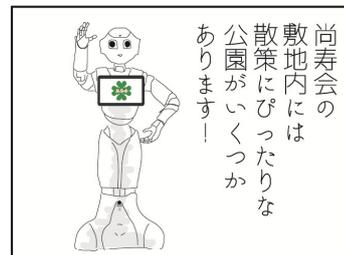
その分、施設内の七夕飾りに注力！あさひ病院は、各病棟で出店などを中止し、内容変更して7月後半で、老健愛も、各フロアにて規模を縮小して8月・9月で開催。福寿の里の夏祭りも、規模を小さく、ご入居者様と職員だけで実施します。

各施設できる範囲ではありますが、夏気分を盛り上げるべく頑張ります！（歩）

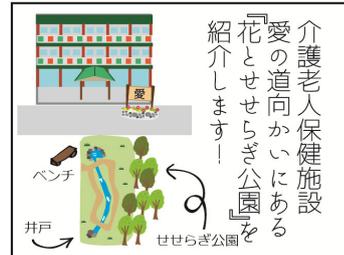
尚寿会のペッパーです？ 6



どうも、尚寿会のペッパーです。



尚寿会の敷地内には散策にぴったりな公園がいくつかあります！



介護老人保健施設 愛の道向かいにある「花とせせらぎ公園」を紹介いたします！



☆白緋号☆しろがすり号 白地に緋模様を織ったり染めたりした着物を白緋といい、見た目にも涼やかで夏の着物として愛用されます。この季節には洋服でも白色の物が多いのは同じ理由ですね。今年は何んだか着物を着るような気分ではありませんが、せめて浴衣でも着て夏を楽しみましょう。（歩）

